



写真から建物を切り出す参加者ら=16日、倉吉市山根のパープルタウン

# 町並み立体的に再現

### フォトモ制作ワークショップ

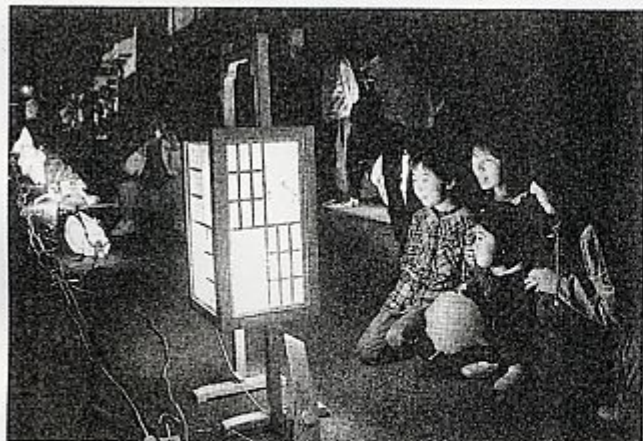
倉吉市山根のパープルタウン 景や趣のある建物などを立体的に「なし」(NoDランド)に組み上げ、町並みを再現し(新日本海新聞社主催、鳥取県)

二十世紀製紙記念館なしっ館 同市立社小5年の井坂斗真共催、倉吉信用金庫、J A鳥 君(10)は一角を合わせて張り取中央特別協賛、日本海新聞、付けるのは難しかったけど、販売店会協力)のプレイベント 教えてもらったとありに作っト「フォトモ制作ワークショップ」なら写真から建物が出来上がる「フォトモ」が開かれ、多くの家族、つて驚きました」と喜んでい連れらが写真を使ったフォトモを作りました。

制作したフォトモ作品は29

フォトモは写真を切り抜いて、日から11月28日まで、同市駅たパークを組み合わせて作る 経寺町の鳥取二十世紀製紙記念シオラマ。米子の町並みをフ館なしっ館で開催されるフォトモで再現している88フォ「なし」(NoDランド)の会トモ(豊野雄一代表)の指導 場で展示される。で、玉川沿いの白壁土蔵の風

小京都倉吉を歩く秋 2010



柔らかな光を放つ和紙の照明=16日、倉吉市の白壁土蔵群

# 和紙の光柔らかに

### 山陰KAMIあかり

「第5回山陰KAMIあかり」(倉吉あかりネット主催、新日本海新聞社など後援)が、白壁土蔵群一帯で行われた。公募で全国から寄せられた122点の和紙照明や和紙のトネル、白壁スクリーン、アーチなどが周辺を照らし、柔らかな光が織りなす美が訪れた人々を魅了した。

旧アーケードに設置された和紙トネルは、格子状に組んだ竹に因州和紙が張り付けられた全長25mの巨大オブジェ。トネル内には、幸せが宿ることを願って福の神が置かれた。

「毎年展示される里見八賢士をモチーフにした巨大なねがた「KAMI像」は1体増え計5体が並び、勇壮な姿が闊に浮かび上がった。

夕刻になると、土蔵群一帯が柔らかな光で包まれる中、白壁をスクリーンにした鳥取短期大学や倉吉総合高校の生徒などが製作した光のアートのほか、アカペラリーフなども開かれ、幻想的な雰囲気を感じることができた。

# 魅力を再発見

2月17

倉吉商工会議所などが取り組む「遥かなまち倉吉」小京都倉吉を歩く秋の関連イベントが16日、市内各所で開かれ、多くの市民らがシオラマ作りやウォーキングなどを体験し、倉吉の魅力を見つけた。

古い町並みを楽しみながら歩く参加者ら=16日、倉吉市西町



# 保存地区など散策

### 木の住まいウォーク

倉吉市美町の打吹公園で物や町並みを楽しみながら歩く「木の住まいウォーク」(NPO法人未来、県木造住宅推進協議会中部支部、県ウォーキング協会、県中部医師会主催)がスタート。約300人の参加者が伝統的建造物群保存地区などを散策した。

長谷寺や昔ながらの面影を伝える造り酒屋の建物、旧牧田家などを巡り歩く5、と10の2コース。途中で県産の木を使った木造住宅を見学し、県産材の良さと地域の自然や社会に触れた。

打吹公園をスタートした参加者は秋空の下、コース上にある古い民家や文化財などをたどり、ゴール地点の新町1丁目の赤瓦1号館に到着。用意された豚汁や昼台の飲食物などを楽しんだ。